
5 0 6 3. 包括保険照会

業務コード	業務名
I I N (I I NOW)	包括保険照会

1. 業務概要

包括保険情報を照会する。

2. 入力者

税関、通関業、損害保険会社、輸出入者、海貨業

3. 制限事項

一覧照会の1回での照会件数は最大200件とする。

なお、200件を超える場合は、照会情報を再度送信することにより次の200件を照会する。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 保険関連チェック

(A) 入力者が損害保険会社の場合は、以下のチェックを行う。

(a) 個別照会の場合

①入力された包括保険番号が包括保険DBに存在すること。

②入力された包括保険番号、パスワード、及び輸入者コードの組合せが包括保険DBに存在すること。

③本業務が入力された日が包括保険DBに登録されている適用終了年月日を過ぎていないこと。

(b) 一覧照会の場合

入力者（利用者コード5桁）が仮登録した包括保険情報のうち、本業務が入力された日が適用終了年月日を過ぎていないものが包括保険DBに1件以上存在すること。

(B) 入力者が輸入者、通関業者または海貨業者の場合は、以下のチェックを行う。

①入力された包括保険番号が包括保険DBに存在すること。

②入力された包括保険番号、パスワード、及び輸入者コードの組合せが包括保険DBに存在すること。

③本業務が入力された日が包括保険DBに登録されている適用終了年月日を過ぎていないこと。

(C) 入力者が税関の場合は、以下のチェックを行う。

①入力された包括保険番号が5桁の場合、当該番号が保険DBに存在すること。

②入力された包括保険番号が7桁の場合、当該番号が包括保険DBに存在すること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「000000-000000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「000000-000000-0000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(2) 包括保険個別照会情報編集出力処理

保険DBまたは包括保険DBより包括保険個別照会情報の編集及び出力を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(3) 包括保険一覧照会情報編集出力処理

包括保険DBより入力者（利用者コード5桁）単位に包括保険一覧照会情報の編集及び出力を行う。
出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
包括保険個別照会情報	以下のいずれかの条件を満たすとき、出力する (1) 照会区分が「1」の場合 (2) エラーの場合	入力者
包括保険一覧照会情報	照会区分が「2」の場合	入力者

7. 特記事項

(1) 包括保険一覧照会情報について

「包括保険仮登録（HHC）」業務実施日が新しい順でソートして出力する。なお、ステータス*1が「仮事項登録完了」状態（HHC業務未実施）の包括保険番号については、出力しない。

（*1）ステータスについては「包括保険仮事項登録（HHA）」業務業務仕様書（本文）7. 特記事項参照。

(2) 必須入力項目及び照会可能DBについて

入力者、照会区分に応じた、必須入力項目及び照会可能DBは以下のとおり。

入力者	照会区分	必須入力項目	照会可能DB
損害保険会社	個別照会	照会区分 包括保険番号 パスワード 輸入者コード	包括保険DB
	一覧照会	照会区分	包括保険DB
輸入者 通関業者 海貨業者	個別照会	照会区分 包括保険番号 パスワード 輸入者コード	包括保険DB
税関	個別照会	照会区分 包括保険番号	包括保険DB 保険DB